



【社会で生かせる資質・能力の育成をめざす】

強烈寒波到来にも負けず頑張る子ども達の姿に毎日励まされています。

学校評価アンケートより

12月に実施した生徒、保護者、教職員対象の「学校評価アンケート」の結果から見た成果と課題についてお知らせします。今後の対策等のとりまとめについてはお子様を通じて2月12日付けの文書にて配付いたしましたので併せてご確認ください。

アンケートでは、あてはまる：4点、ややあてはまる：3点、あまりあてはまらない：2点、あてはまらない：1点として合計点を平均しています。

〈生徒アンケートより（23項目）〉


○3.5以上の評価を得た項目

- 学校は学校・学級だより等で学校の様子をよく知らせている 3.5
- 学校は朝読書の時間に読書に集中するなど、読書の習慣を身につけるように指導している。 3.6
- 学校は生徒が学校行事に自ら進んで取り組めるような体制を整えている。 3.5
- 学校は生徒が委員会活動や係活動に自ら進んで取り組めるように指導している。 3.5
- 学校は社会や学校のルールを守るように指導している。 3.5
- 学校は生徒が自ら進んであいさつするように指導している。 3.7
- 学校はいじめを許さない明るく楽しい学校・学級づくりに努めている。 3.5
- 学校はいじめやけんかがあったとき、すぐに対応してくれる。 3.5
- 学校は生徒が自分を大切にするように指導している。 3.5
- 学校は生徒が他人を大切に、思いやりをもって接するように指導している。 3.6
- 学校は生徒が心身ともに健康であるように指導している 3.6
- 学校は、生徒たちが一緒に学び、一緒に成長できるような場の提供とサポート（支援）に努めている 3.6
- 学校は生徒がボランティア活動や地域活動に進んで取り組める機会や体制を整えている。 3.5
- 学校は清掃活動にしっかり取り組むように指導している。 3.6
- 学校は安全で過ごしやすい環境づくりや事故防止に努めている。 3.6

☆3.5以上の評価を得ている項目は、昨年度より8項目増えていました。その他の項目はすべて3.3以上の評価を得ていました。また、23項目の平均は、昨年度は3.39でしたが今年度は3.50でした。生徒は概ね学校生活に満足しているとともに、自らを律して規則正しく生活している様子がうかがえました。

〈保護者アンケートより（26項目）〉

☆3.5以上の評価を得た項目はありませんでしたが、すべて3.0以上の評価でした。26項目の平均は、昨年度は3.10でしたが今年度は3.15でした。生徒の結果と大きく異なることはありませんが、生徒の個々のニーズや特性への対応、ボランティア活動や地域活動を増やしてほしいと感じている様子がうかがえました。

 来年度に向けてより良い教育が実践できるように、今回のアンケートの結果を生かしてまいります。ご協力くださり、ありがとうございました。

広報やまきた出前授業（1/28）

2年生が総合的な学習の時間で取り組んでいる「発信の仕方を学ぼう」の第3弾として、「広報やまきた」の担当である山北町地域防災課地域協働班 藤澤さんをお招きして、他者に伝わりやすいポスター作りのコツを学びました。ワークショップでは、学年発表会の保護者向け招待ポスターを作成しました。公務員の仕事についてもお聞きすることができ、キャリア学習の場にもなりました。



広報の表紙の説明

校内研究全体会～1年生総合的な学習の時間～（1/31）

1年生は総合的な学習の時間に「よりよい山北町をめざして」という個人探究に取り組んでいます。山北町のホームページや上級生の探究の発表から、山北町の課題を把握し、課題解決に向けて中学生でもできる手立てを設定します。今回は、自分の考えを班員に説明し、よいところや改善点を伝え合う学習でした。山北町の特産品であるお茶のPRや林業に関する提案もあり、今後の取り組みが楽しみです。



協働的な学び

受け取る力・伝える力

やまきた学び・拍子木の会による紙芝居（2/3）

2月3日（月）の朝会では、山北町「0歳から15歳までの一貫教育・保育」カリキュラムの中の「やまきた学びカリキュラム」に位置づけられている「やまきたタイム」を実施しました。当日は、山北町教育委員会伊藤指導主事と「やまきた拍子木の会」の皆様にお越しいただきました。伊藤指導主事からは、「山北スタンダードカリキュラム」の「めざす子ども像」や「受け取る力・伝える力」を各発達段階でどのように育てていくか、そして特に中学校段階ではどのような力を向上させていくべきか等の講話がありました。拍子木の会の皆さんは「18さいの夏～わたしの戦争体験」という題名のお話を大型紙芝居で披露してくださいました。戦中に町の郵便局員だった女性が実際に体験したことをお話にしてあり、「山北でこんなことがあったと知って驚きました」「今回の紙芝居は、これからも続けていくべきだと思います」と等の感想が生徒から聞かれました。山北町にまつわるお話はたくさんあり、大切な財産です。このように山北町の歴史を知る貴重な機会を与えていただき、感謝いたします。拍子木の会の皆さんによる紙芝居は毎年実演していただこうと考えています。次はどんなお話か、楽しみにしています。



拍子木の会の皆さんと実演の様子

山中生の活躍



○全国中学生人権作文コンテスト神奈川県大会
西湘二宮人権擁護委員協議会予選

銅賞 石川さん
奨励賞 後藤さん